

# **ORANGE JOURNAL**

---

# **法政 大學 校友會報**

[www.hoseinet.jp](http://www.hoseinet.jp)

法政大学校友会

検索



# 創刊号 (通算408号)

## PICK UP CONTENTS

INTERVIEW————— P.3

こんにちは！卒業生訪問  
フリーアナウンサーとして活躍中の  
小島有津子さんにお話を伺いました

**SERIES** \_\_\_\_\_ P.7

**同期会紹介** 今回は2013年度同期会を  
ご紹介します。

Published by 一般社団法人 法政大学校友会

発行人:桑野秀光 編集人:宮本幸彦  
〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-3 法政大学九段校舎4階  
TEL.03-3264-1831(代表) FAX.03-3264-4770



一般社団法人「法政大学校友会」発足

組織である私達後援会と致



池田隆 後援会会長

しましても、校友会・大学  
関係者の皆様の長年のご努  
力が実り、盤石な卒業生組  
織が発足した事を大変心強  
く感じているところです。

がら、法政大学への愛着  
法政の卒業生としての誇り  
と喜びを深めてゆくこと  
しょう。

## 縦・横の交流の糸を紡ぐ

法政大学校友憲章

われわれ法政大学校友は、  
母校の伝統風土である

「よき師 よき友 つどひ結べり」の精神を継承し、  
21世紀のビジョン「開かれた法政21」の実現のもと、  
母校の校格を向上させることを目的として、強力な支援体制を築く。  
また、「母校への誇り、母校愛、母校への貢献」を共通理念として、  
校友が一体となった活力ある組織を形成するものである。

法政大学校友会事務局  
メールアドレス変更のお知らせ  
旧／ jimukyoku@hoseinet.com  
新／ [jimukyoku@hoseinet.com](mailto:jimukyoku@hoseinet.com)

理事		名譽顧問・監事紹介									
会長	副会長	桑野秀光	田中優子	北信プロック	松井幹夫	中部プロック	杉本仁至				
名譽会長		岡田安弘	佐々木郁夫	九・沖縄プロック	川越悦生	関西プロック	樋口正藏				
副会長		岩村元雄	井上泰一	西岡憲廣	松井幹夫	中四国プロック	西康宏				
会員		豊田信哉	樋口正藏	大島雄次	金子正之	元法政大学校友連合会会长	佐伯弘治				
会員		和食正三	中村克雄	高津利明	辻田克佳	元最高裁判事、法政大学名誉博士	賀見信義				
会員		山中正竹	中村二三	長嶋義教	岩井実	前法政大学校友連合会会长	大島雄次				
会員		岩井昭徹	辻田義教	付属同窓会	元雄憲廣	経営者懇談会名譽会長	遠藤光男				
会員		伊藤貞雄	岩井克廣	北海道プロック	※西岡元雄	小佐野文雄	岩部金吾				
会員		東京プロック	三浦徹	東北プロック	元雄憲廣	前法政大学総長	増田壽男				
会員		北関東プロック	伊藤元雄	東京プロック	付属同窓会	公認会計士	矢部農				
会員		※阿部聰	永崎秀一郎	※阿部聰	北海道プロック	弁護士	山崎正樹				
会員		東京プロック	北関東プロック	東北プロック	東京プロック	税理士	發地敏彦				
会員		南関東プロック	※阿部聰	※阿部聰	法政大学法人統括本部長	小川浩幸					



## INTERVIEW

こんにちは!  
卒業生訪問

フリーランサー 小島 奈津子 さん

「法政大学自主マスコミ講座」の3期生として、株式会社フジテレビジョンに入社され、今では誰もが知る女性人気アナウンサー。現在は、TBS系列情報番組『噂の!東京マガジン』にも出演中です。今回は、1児の母として、一社会人として奮闘中の小島奈津子さんにご多忙の中、お話を伺いました。



こじま・なつこ

1968年(昭和43年)埼玉県生まれ。92年文学部卒業。92年株式会社フジテレビジョン入社。入社後間もなく『おはよう!ナイスデイ』『タモリのボキャブラ天国』『笑っていいとも!』など多くの人気番組に出演し、後に『めざましテレビ』のメインキャスターとなる。「なっちゃん」の愛称で、お茶の人気者として親しまれ、現在は、フリーANAウンサーとして活躍中。

## 社会のニーズに合った法政大学に

### —アナウンサーを目指したきっかけ。

私が学生の当時は、田丸美寿々さん、小宮悦子さん、安藤優子さん、そういった方々が夕方のニュースを読み始めていた時代です。まだまだ認知度も低かったとは思いますが、女性でもニュースを読むことができる、社会に対して情報を発信することができたんだ、ということを知って、アナウンサーという仕事に興味を持つようになりました。その後、法政大学の「自主マスコミ講座(3期生)」に応募し、先生や仲間の協力もあってアナウンサーになることができました。

### —結婚までは、常に全速力で走っていました。

私は入社2年目で、今の『とくダネ!』の枠で放送されている『おはよう!ナイスデイ』という番組を任されることになり、朝5時に家を出て仕事。その後は『めざましテレビ』に出演するようになり、朝3時に家を出て仕事をする日々を送るようになりました。まさに昼夜逆転の生活で、体力的にも精神的にも、本当にハードな毎日でした。毎日新しいニュースがあって、それをお伝えするのですけれども、ただ伝えるだけ

なく、自分なりの個性も出さなければなりません。また、テレビに出演するだけでなく、番組を作ることが仕事ですので、ディレクターやプロデューサー達とまみれて、意見を出し合うこともしました。

入社してから33歳で結婚するまで、とにかく仕事して、寝て、起きて、食べて、仕事してという、本当にがむしゃらな毎日でした。マラソンならまだいいのですが、先が見えないので、常に全速力で走っているような状態だったと思います。

### —出産後は、子育てと仕事のバランスを保つことを第一優先に。

結婚するまではがむしゃらに、全速力で、つまずきつつも走っていました。でも、出産後は、家庭が壊れては本末転倒だと思って、私はフリーの道を選ぶわけです。当時は、今の年齢になるまで仕事をしているとは思わなかつたし、仕事が来なくなるかもしれません不安もありました。

出産して母になりましたが、世の子どもを持った女性が皆悩んでいるように、テレビをつければそんな話が毎日聞こえてくるように、どうやって「子育てと仕事を両立させるか」と

いう課題が私にも突き付けられたわけです。

難しいのは、子どもの成長によって、その状況が常に変化していくことです。私の子どもも、今は小学生になったのですけれども、小学生には小学生の子供をもつ母としての悩みがあります。中学生、高校生と成長するにつれてその内容は常に変化するでしょう。そして、それに応じて仕事との向き合い方も変わってくるので、そのバランスを取ることをいつも考えながら生活していました。私もそうですが、世の中の子どもを持った女性にとって、仕事は一種の「挑戦」みたいなところがあるのではないかでしょうか。

### —今も社会と関わる、法政のママ友。

大学の同級生(女性)は、今も社会と密接に関わっている人がたくさんいます。海外で恵まれない子どもたちを助けるNPO法人を立ち上げた人、翻訳と通訳の会社を立ち上げた人、大学教授になっている人もいます。先生になって、教育委員会でバリバリ頑張っている人もいます。私の一番の親友は、子育てをしていたのですけれども、教職を取っていたので、現在は小学校のスクール支援

員として子どもたちをサポートする仕事に就いていたりしています。

これは、法政大学に限らないのかもしれないけれども、卒業から25年たって、私たちの世代が、母になっても社会と関わっているんだと思うと、私も頑張らなければ勇気付けられます。

### —社会のニーズにあった法政大学に。

女性の働き方というのは今後ますます注目されると思います。まさにそういう時代に、田中優子先生が総長になられて、今のニーズに合った法政大学に、これからもっとなるべく欲しいと思いますね。大学が勢い付いてくれるとOG・OBも元気になりますから。

一方で、私たちOG・OBも頑張らなければならぬと思います。年齢を言うのもどうかと思いますが、45歳でもこれからだと思えるのです。ですから、私たちの世代だけではなくて、もっと上の世代も下の世代も頑張って、「大学を元気にする」。僭越ながら、その一端を私も担えるように、挑戦し続けていきたいと思います。

(取材 高見 佳宏)

## ESSAY 校友随想 “法政おおわが母校”を卒業して幾年。 各地で活躍し、その後の人生模様を寄稿願った。



法政大学校友ゴルフ会会長  
橋本 CC 理事  
**遠藤 隆三**  
1960年 経済学部  
経済学科卒業

### 更なる親睦深めるために

法政大学校友ゴルフ会コンペは、今秋100回目を迎えます。1959年、法政OBで橋本カントリークラブ創業社長・石村幸一郎先輩のゴルフ仲間が集まり、大学より総長杯を賜り法政大学校友ゴルフ会として発足しました。

私は郷里(宮城県)の法政OB代議士の秘書でしたので、石村先輩と大学関係者として知り合い、ご指導をいただいて先輩のゴルフ場に関係することになり今日に及んでいます。その間、広告代理店勤務後独立、広告代理店を経営。法政大学卒業生評議員を3期歴任、法政のPRに寄与したと自負しております。

数年前、経済学部同窓会(経友会)から校友ゴルフ会に共催の申し出があり、総長杯を共有、東京都校友会からも共催の会話がありました。どちらからも優勝者が出て喜んでおります。親睦の輪が広がることがこの会の目的です。これを機に、更なる親睦を深めるためにも、是非友人知人をお説きいただければ、と思っております。

この会は、年2回開催。春は桜の咲く頃、秋は紅葉の時季と、決めてご案内をしております。なあ、この会のゴルフハンディキャップは、新ベニア方式で行なわれており、ゴルフのJGAハンディキャップをお持ちでない方もプレーできますので、是非ご参加をお待ちしております。



東洋英和女学院大学  
キャリアセンター  
**丸谷 珠子**  
2001年 社会学部  
社会政策科学科卒業

### 大学を卒業して10数年

大学を卒業して10数年。今では1児の母になり、子育てしながら学生の就職相談に乗る日々を過ごしています。毎日のように学生と接する機会がありますが、今の大学生たちは「えらいなあ」「まじめに学業に勤しんでいるなあ」と日々感心しています。まじめに学業に勤しんでいると思うのです。振り返ると、私は不真面目な学生だったと思います。真剣に学びに向かうべきよかったですと今になって思っています。多摩キャンパスだったので、空き時間があれば、近くの湖や山に遊びに行ったり、「ザ・大学生」という自由な時間を謳歌していました。しかし、そんな時期があったからこそ、今の私があるように思います。大学生のキャリア支援に携わる身であり、先輩でもある私から、後輩へ一言。「4年間、様々な物に触れ、体験・経験を重ねてください」。職業人・母親と役割が増えると、自分のための時間を使出するのが難しくなります。自分のために時間を費やすことができる点は、学生時代です。その時代に、様々な価値観に触れ、経験を重ねることが、その後の将来における大きな財産になります。様々な経験を重ねた学生は、人として、職業人として、とても魅力的に感じます。小さくまとまるのではなく、殻を破ってください。是非、学生だからこそ無茶をして、失敗や成功を重ね、色々と感じてください。そして、法政大学の学生が、世に出て活躍することを願っています。



一般財団法人 日本労働会館理事長  
**服部 光朗**  
1962年 工学部  
機械工学科卒業

### 風吹かねば樹動かず

私の卒業当時は、池田内閣の所得倍増計画の下、好景気が継続、モータリゼーションが進んでいました。その一方で、東京一極集中による地方の過疎化の進展と大手企業・中小企業の二重構造が顕在化しつつありました。

一端の技術屋の志を持ちデーゼル機器株式会社(現ボッシュ社)に入社し、翌年周囲の勧めで労働組合の執行委員から委員長就任を皮切りに連合副会長、連合埼玉会長、IMF-JC(全日本金属産業労働組合協議会)副会長、JAM(ものづくり産業労働組合)会長、ゼンキン連合会長等を歴任しました。

思えば40歳にして、“吾道、労働運動にあり”を悟りました。また、中央労働委員会委員、社会保障制度審議会委員、最低賃金審議会委員等、公的委員を経験する中で“風吹かねば樹動かず”的精神を貫いてきました。

労働運動50年を振り返れば“風を吹かせ、樹は多少動かせたが、目標とした山は動かすに至らず”的実感がよぎる昨今であります。

同窓同志の多くも随所で労働運動の指導者の立場にあります。進取の気象に富む今後の活躍を期待して止みません。

※服部氏は、2010年秋 旭日中綴縫を受章されました。

(構成 矢田 義徳)







SERIES

# 同期会紹介

2013年度同期会

一般社団法人法政大学校友会  
年度同期会担当理事 岩井 昭

「新社会人は今」に寄せて



吉川 将生

2013年  
法学部法律学科卒  
小売業

きつい中でも楽しさを見出し、奮闘中

私の就職した企業は小売業なので最初は店舗での現場経験から始まります。

24時間営業ということもあり早番、遅番、深夜業務など生活のリズムを作るのが難しい環境下にいると感じています。

学生時代に思い描いていた社会人のイメージは、休みの日は休んで仕事の日はぱりぱり働く、といったうまく公私のバランスが取れているというものでした。しかし実際は休みの日に書類を作り、調べ物をするなどして同期入社のメンバーに差をつける、あるいはおいていかれないという生活でした。会社にもよると思いますのでその辺りも含めて企業研究をしっかりやり就職活動に取り組んでいればよかったと感じています。

ただ会社の多くのことが数字として出てくる中で具体的な数値目標を持って取り組みどのようにしたら達成できるのか考え、実践することで結果がついてくると楽しくて仕方ありません。

きつい中でも楽しさを見出し日々の生活を全力で過ごしている今の社会人生活です。

# 第22回 法政大学全国卒業生の集い

## 福井大会



11月21日(金) ゴルフ大会  
11月22日(土) 大会・式典  
11月23日(日) エクスカーション

主催: 法政大学校友会 主管: 福井県校友会



吉田 敏賀 (福井県校友会会长)  
61年経済学部卒

第22回法政大学全国卒業生の集い  
福井大会実行委員会会長

校友の紹 より強く  
食とおもてなし情緒満喫を  
晚秋の北陸路で



し、卒業生の集いと懇談を  
通じて固い友情を確かめ合  
います。前日21日の記念ゴルフ会  
場は、越前海岸国定公園内  
にある芦原ゴルフクラブで

あります。

日本海に面した北陸の

名門コースに挑みます。

23日の周遊観光は、一日

コースで日本海の奇勝と名

高い東尋坊や北前船寄港地

の港町三国、現存最古の様

式を持つ丸岡城天守閣を巡

ります。また、半日コース

は、国内最大の展示スケ

ルで圧倒する福井県立恐竜

博物館で恐竜王国ロマンに

浸るほか、代表的名所の曹

洞寺大本山永平寺や戦国城

は、国内最大の展示スケ

ルで圧倒する福井県立恐竜

博物館で恐竜王国ロマンに

浸るほか、代表的名所の曹